



## 認定こども園 増加しているが...

= 認定こども園の平成 22 年 4 月 1 日現在の認定数及び認定数の推移について = ~文部科学省~

4 月 20 日、平成 22 年 4 月 1 日現在の「認定こども園」の認定数が公表された。これによると、平成 22 年 4 月 1 日現在の認定数は、昨年度と比較して、358 件から 532 件（都道府県数 43 から 44）に増加している。

認定こども園は、急速な少子化の進行や家庭・地域を取り巻く環境の変化の中、保護者や地域の多様なニーズに応えるために、平成 18 年 10 月からスタートした制度である。幼稚園と保育所のそれぞれの特色を活かしながら、その両方の役割を果たすことができる施設とされ、次のようなタイプが認められている。

- 幼保連携型 ... 認可幼稚園と認可保育所とが連携して、一体的な運営を行うことにより、認定こども園としての機能を果たす。
- 幼稚園型 ... 認可幼稚園が、保育に欠ける子供のための保育時間を確保するなど、保育所的な機能を備えて認定こども園としての機能としての機能を果たす。
- 保育所型 ... 認定保育所が、保育に欠ける子供以外の子供を受け入れる等、幼稚園的な機能を備えることで認定こども園としての機能を果たす。
- 地方裁量型 ... 幼稚園・保育所いずれの認可もない地域の教育・保育施設だが、認定こども園として必要な機能を果たす。

今回の調査によると、認定件数の多い都道府県が、(1)東京 51 (2)長崎 37 (3)兵庫 31 (4)神奈川 25、昨年度より認定件数の増加した都道府県が、(1)東京(+18) (2)兵庫(+12) (3)長崎・茨城(+11) であった。

認定件数は、増加しているが、待機児童数の大幅な減少にはつなげていないのが現状であり、地域間の格差も見られる。(詳細は、[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/22/04/\\_icsFiles/afieldfile/2010/04/20/1292858\\_01\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/22/04/_icsFiles/afieldfile/2010/04/20/1292858_01_1.pdf))

認定こども園の平成 22 年 4 月 1 日現在の認定件数及び認定件数の推移について

	認定件数	(公私の内訳)		(類型別の内訳)			
		公立	私立	幼保連携型	幼稚園型	保育所型	地方裁量型
平成 19 年 4 月 1 日現在	94	23	71	45	32	13	4
平成 20 年 4 月 1 日現在	229	55	174	104	76	35	14
平成 21 年 4 月 1 日現在	358	87	271	158	125	55	20
平成 22 年 4 月 1 日現在	532	122	410	241	180	86	25

(出典: 文部科学省初等中等教育局幼児教育課)

子供の健やかな成長にとって、家庭環境が大きな影響を与えることは言うまでもない。一方、現在のような景気下においては、外で働きたいと考える母親も増加しているため、待機児童は、無許可の施設等に預けられている実態もある。子供たちが安全、安心な環境で過ごすことができるようにするために、認定こども園の認可基準の見直しや設置にかかる予算の確保等の条件整備を引き続き行うことが大切である。就学前の子供たちの健全な育成のために、家庭環境の改善や社会体制の整備が不可欠であることを全日教連は訴えていく。